

令和6年度 東京都立石神井特別支援学校 学校経営報告

東京都立石神井特別支援学校長

中島 由美子

1 今年度の取組と自己評価

(1) 教育活動への取組と自己評価

ア 学習指導	
	①個別指導計画において新学習指導要領の3観点を踏まえた学習評価を行う等、指導の一層の充実に努めた。学校評価の保護者アンケートでは、98%の肯定的評価をいただいた。 ②一人1台端末の活用やICT機器を活用した指導・教材開発に取り組んだ。週末や長期休業中は、御家庭の理解と協力を得ながら個別最適化の利活用を図った。 ③都立特別支援学校知的障害教育外部専門員事業を活用し、理学療法、作業療法、言語聴覚、視機能訓練、臨床発達心理、学習指導、情報教育の多方面からの助言を得て、教員の指導力向上を図った。
イ 生活指導	
	①登下校時のスクールバスも含め、組織的に感染症予防対策に取り組んだ。安全・安心な環境構築のもと、集団における緊急時対応訓練等、外部関係者から助言を得ながら様々な安全教育を実施した。 ②学校と保護者、スクールバス会社相互間で連携を図り、安全なスクールバスの運行に取り組んだ。 ③将来の自立と社会参加を視野に、一人一人の実態に応じた移動スキルの向上を図り、段階を踏んだきめ細やかな通学訓練指導を行った。
ウ 進路指導	
	①小学部は校内での就業体験、中学部は外部において見学や就業体験を実施し、小学部段階からキャリア教育を意識した指導を積み上げるようにした。高等部の生徒が来校して清掃の指導体験を実施した。 ②保護者向けの進路研修会は、昨年度に引き続き限定配信でオンライン実施した。子供の将来を考え、高等部卒業後の生活をテーマに卒業生やその保護者、社会福祉関係者に講演いただき理解を深めることができた。 ③進路先の2校の高等部の特別支援学校と連携を図り学校見学を実施した。
エ 特別活動	
	①オリンピック・パラリンピック教育のレガシーとして「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」において、女子バスケットボールの全日本代表との体験活動を実施した。体育健康教育推進校としてパリパラリンピックのボッチャの監督・メダリストの指導による体験活動を実施し、パラリンピック競技について興味をもち理解を深めた。音楽鑑賞会や「日本の伝統・文化」での和太鼓の演奏・鑑賞、踊り等の活動により、芸術・文化面における興味・関心の幅を広げた。 ②学習発表会は、舞台発表を学年ごとに実施した。授業参観週間等を活用して校内展示発表を行った。 ③PTAや企業と連携して、3か年目のSDGsの取組「“届けよう、服のチカラ”」プロジェクトを全校で推進した。また年3回、地域企業の社内環境改善に資する社会貢献活動の一環として、児童・生徒の作品を社内に展示していただいた。

オ	健康づくり
	①医療的ケアや緊急時アレルギー対応訓練等の研修を実施するとともに指導医・学校医に指導・助言を仰ぎながら、安心・安全を確保できるよう組織的に対応した。 ②療育相談を実施し保護者との共通理解を図った。病院への紹介を行うなど医療へつなぐ契機となった。 ③学校医や学校薬剤師からの感染症対策も含めた健康に係る指導・助言、情報提供等を活用して、健康教育を進めた。養護教諭や栄養士が円滑に連携した。 ④小学部段階からの系統性を踏まえ、食育の年間指導計画の見直しを図った。
カ	校内研究活動
	①OJTチームによる授業研究を行い、学年や各教科会で協議し意見交換したり、外部専門員を活用したりして指導力の向上を図った。 ②全教員が、発達段階に応じた教材を作製して発表したり、外部講師を招聘して、校内研究に取り組み、発表会を実施したりして、情報を共有し、組織的に学びを深めながら専門性を高めた。 ③若手・中堅教員の育成・資質向上研修や校内研究授業等の活用により、教員の授業力の向上を目指して、組織的に取り組んだ。また、デジタルを活用した授業づくりの研修を設定し理解を深めた。
キ	特別支援教育のセンター的機能
	①学区域を中心に関係機関と連携して特別支援教育への理解啓発の推進を図った。学校見学会を実施した。 ②専任コーディネーターを中心に、学区域の幼稚園、保育園、小・中学校等を訪問し、センター的機能を発揮した。練馬区の保育士研修を2回実施し、24名の現職保育士が本校で実地研修した。 ③近隣の小・中・高等学校や特別支援学校との対面での交流を実施し、関係を一層深めることができた。
ク	学校経営
	◎保護者の学校評価アンケートの回収率は、95.7%であった。年間行事計画に沿って宿泊行事や校外活動、プール指導、学校間交流、就業体験等を実施した。御家庭と連携を図りながら進め、学校評価では、全般的に90%以上の肯定的な評価を得た。 ①ICT等を活用し会議運営等の効率化やペーパーレス化を図り、適正な進行管理や業務精選を行った。 ②体罰・いじめ防止研修等を実施し、人権を尊重した指導への意識を醸成した。 ③学校だよりやSNSによる情報発信を積極的に推進した。 ④学校における働き方改革プランに基づき、定時退庁日等による計画的業務遂行やライフ・ワーク・バランスの推進に努めた。 4月中旬からClassi 東京都版を保護者との連絡ツールとして運用開始した。保護者がスマートフォンやパソコンから欠席連絡を入れたり、アンケートに回答したりするとともに学校からのお便りを電子配信した。学年単位、スクールバスコースごとに限定配信を行った。非常時の連絡手段として、Classiによるメール送信、開封確認訓練を実施した。 ⑤定期的に産業医と連携を図り、職場環境の改善や教職員の健康管理に努めた。 ⑥コミュニケーションを密にとるようにし、経営企画室の学校経営参画を推進した。 ⑦学校施設・設備の改修工事（体育館改修工事）を計画的に円滑に行い、安全実施することができた。

(2) 重点目標に関する具体的方策の自己評価

重点目標		具体的方策及び評価
ア 学習指導		
個別指導計画等における適切な目標設定、効果的な指導方法・内容の充実を図る。	個別指導計画等に基づいた学習成果の的確な把握、評価・改善	◎
I C T機器を活用した学習指導、教材作成	全教員、I C T機器を活用した実践に取り組んだ	○
外部専門員を活用した指導の充実	全校で10人の各専門分野の外部専門員を活用した。年間931時間	◎
イ 生活指導		
日常の感染症等対策に努め、自ら身を守る教育の実施 事故等の未然防止と緊急時の対応マニュアルの徹底	感染症対策の実施、的確な情報収集・環境構築 避難訓練（毎月）、宿泊防災訓練（中2年）、セーフティ教室の実施 練馬区役所や石神井警察署、石神井消防署と連携した起震車体験、煙体験ハウス、不審者対応訓練、交通安全教室の実施 教職員を対象にした緊急時の的確な対応訓練の実施（不審者対応訓練、避難所を想定した防災訓練）	◎
安全で安心なスクールバスの運行 (全11コース)	スクールバス乗務員研修の実施（年間3回以上）、毎日の情報連携、乗務員との連絡会（毎月） 非常時に備えたバス位置情報システムの保護者への情報提供（1月）、緊急連絡メール訓練の実施（2月）	◎
一人通学練習計画の充実	実施者の一人通学指導計画の作成100% 段階的な通学訓練の実施、新規の安全な実施	○
ウ 進路指導		
中学部の就業体験学習の充実	中学部3年間で3回の就業体験・職場見学実施	◎
小学部の就業体験学習の充実	小学部5・6年生各1回の就業体験実施	○
保護者の進路指導についての理解促進	進路だよりの発行（年5回）、保護者対象進路研修会の実施（12～1月オンライン視聴150人）	○
エ 特別活動		
オリンピック・パラリンピック教育のレガシーを構築し、体育的、文化・芸術的活動・行事の充実	パラリンピアンによるボッチャ体験（2月） 外部講師を招へいた芸術・文化体験の実施、芸術鑑賞教室（7月）、笑顔と学びの体験活動プロジェクト（12月）、伝統文化体験プログラム（6、1月）	◎

学習発表会での日常の教育活動の成果発表や宿泊・校外学習等、体験活動の充実	学習発表会（１２月）の実施は、参観者制限なしとした。３５２名（外部３６名）参観 小学部５学年から中学部３学年までの１泊２日の宿泊行事の実施。全学年の校外行事・遠足の実施。	◎
SDGs、社会貢献活動に関する取組の実施	保護者、地域、関係機関等と連携した活動の実施、服のチカラプロジェクト、企業連携３回、アート作品の校外への出展年４回	◎
オ 健康づくり		
医療的ケア、食物アレルギー対応等の安全実施	医療的ケア安全委員会・担当者会（各学期１回）、アレルギー対応訓練・研修会実施（４月）、食物アレルギー個別面談の実施（１４回）、摂食相談の実施（希望者８人）	◎
精神科校医を活用した心身の健康づくりの推進	精神科療育相談では希望者１３人の実施	◎
食育の推進、健康増進・体力向上のための取組	食育に係る情報配信（石神井ランチを毎日作成・配布）、給食だより発行、食育年間指導計画の見直し	◎
カ 研究研修活動		
主体性を育む国語・算数/数学の授業研究	アセスメントを活用した授業実践、各学年の事例研究、外部講師招へい（３回）	◎
OJTチームによる研究授業、研究会の充実	チームによる研究授業及び研究会協議会３回以上（年次研修対象者２５名）	◎
個に応じた教材・教具に関する研修会の実施	外部専門員を活用した夏期研修、随時実施	◎
デジタル技術を活用した教育推進のための教員研修	夏期休業中集中開催、学期中は適時	◎
キ 特別支援教育センター的機能		
幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校等への特別支援教育の推進への支援・助言	コーディネーターの出前授業を要請に応じ実施 出前授業（小学校１校、中学校１校）、個別の相談件数（７９８件）	◎
放課後活動事業所等との連携	夏季施設訪問、支援会議、３月説明会の実施	○
近隣校との交流教育・副籍交流の充実	学校間交流の実施 石神井台小学校（１１月小３・４年、１月５年）、石神井高校（１２月中１年）、旭出学園（１月中２年）、大泉第二中学校（作品交流） 副籍交流の実施 直接交流（小学部３６件、中学部５件） 間接交流（小学部６件、中学部３件）	◎

ク 学校経営		
機能的・効率的なライン化による組織運営、会議運営の効率化と適正な進行管理、校務のDX化	通年	◎
定時退庁日、学校閉庁日の設定・促進による計画的業務遂行の推進	毎週水曜日、長期休業中の定時退庁率80%以上 学校閉庁日：年5日	◎
ライフ・ワーク・バランスの推進	長期休業中のテレワーク、アドバイザーの活用	◎
産業医と連携した職場環境点検、教職員の健康管理・メンタルヘルス対策の推進	産業医による教職員の健康相談の実施（毎月） 安全衛生委員会の開催（毎月）	◎
体罰・いじめ・自殺防止研修、情報セキュリティ研修、学校徴収金等の取扱研修、服務事故防止研修実施	年間5回以上実施	◎
SNS等による学校広報 効果的な保護者との情報の共有	X（旧 Twitter）等による情報発信、年間100件以上、Classi による文書配信、アンケート調査の実施	○
職員検診、人間ドック受診率の向上	健康診断の受診率100%	◎
適正な予算編成と計画的な予算執行の管理	センター執行：60%、1月：執行率75%	○
学校施設・設備の計画的な改修工事の実施	体育館の改修工事（床・天井、壁面塗装等）の安全実施（7月～1月） 期間中の体育/保健体育の授業は、グラウンドや特別教室で実施。1学期終業式と2学期始業式の儀式的行事は、各教室や学年でVTR動画を視聴し実施	◎

2 次年度以降の課題と改善策

（1）児童・生徒がより安心・安全に学習することができる学校づくり

- ア 人権を尊重し、不適切な指導の排除といじめ・体罰・自殺ゼロを実現する教育活動の推進
- イ 安全に配慮し、安心して学習や活動ができるよう教育環境を整備する
- ウ 全教職員の人権感覚を一層高め、「人権を尊重する教育活動」を重視するという校内全体の意識向上を図る
- エ 教職員が一人一人の児童・生徒の気持ちを受け止め、向き合う時間を大切にする

（2）「分かる」「できる」を目指した GIGA スクール端末を活用した教育内容の充実

- ア 児童・生徒同士の学び合いで GIGA スクール端末を活用する事例を増やす研究を行う
- イ 外部専門員や専門性のある教員の実践例を生かした教材の開発
- ウ 長期休業中や週末の持ち帰りの際に端末を活用できるような教材の開発、余暇活動につなげられるような教材の工夫
- エ ICT 機器やオンラインの合理的機能を生かした情報発信を高める力の育成

（3）特別支援教育の専門性の向上

ア 外部専門員やアセスメントを活用し、個別指導計画を作成して個に応じた指導を行い、指導力の向上を図る

イ 保護者、教育、医療、福祉等の関係機関と連携し、一人一人の特性に応じた学校生活支援ファイルの作成・活用により、将来の自立と社会参加につなげるキャリア形成を育成する教育の推進

ウ 進路を含めた特別支援教育の説明力・情報発信力の向上を図る

(4) 学校経営及び組織体制の充実

ア OJTを活用した組織的な若手教員の育成・中堅教員の資質向上

イ 各専門分野の支援員や経営企画室の経営参画と連携による円滑な学校運営

ウ ライフ・ワーク・バランスの推進

エ 学級増を見通した教室や職員室の環境整備、よりよい学校施設・設備に向けた改善計画

【令和6年度学校評価アンケート結果】

1 アンケート対象と実施方法

名称	対象者	回答率	実施方法
本人評価	全児童・生徒	259名中256名が回答 (回答率：98.8%)	紙文書（イラスト入）
校内評価	全教職員	98名中98名が回答 (回答率：100%)	Forms(オンライン)
学校関係者評価	全保護者	259名中248名が回答 (回答率：95.7%) (Classiによる回答81%)	Classiによるアンケート (未登録の場合は紙文書)
第三者評価	学校運営連絡協議会委員 (※以降、学運協とする)	対象者6名中6名が回答 (回答率：100%)	Forms（オンライン）もしくは紙文書によるアンケート

2 アンケート結果（一部項目より）

「A:とてもそう思う」「B:そう思う」「C:どちらともいえない」「D:あまりそう思わない」
「E:そう思わない」「?:空欄:分からない」

設問	質問項目	%	A	B	C	D	E	?
1	お子さんを学校へ安心して送り出すことができる。	保護者	71	28	1	0	0	0
2	健やかな心と身体を培うための教育ができています。	保護者	58	39	2	0	0	1
		内部	16	68	13	2	1	0
		外部	67	33	0	0	0	0
3	意欲的に活動するための教育ができています。	保護者	57	40	3	0	0	0
		内部	16	70	13	1	0	0
		外部	50	50	0	0	0	0
4	自ら考え、表現し、行動するための教育ができています。	保護者	49	43	6	0	0	2
		内部	9	71	18	1	0	0
		外部	33	67	0	0	0	0

5	豊かな人間関係を築くための教育ができています。	保護者	49	44	6	0	0	2
		内部	14	71	12	2	0	0
		外部	17	83	0	0	0	0
6	児童・生徒一人一人に対して、障害や特性に応じた指導がなされている。	保護者	57	38	2	1	0	2
		内部	18	71	8	1	1	0
		外部	67	17	0	0	0	17
7	教職員は、児童・生徒への接し方、指導の仕方、言葉遣い、名前の呼び方などで、人権を尊重した適切な関わり方をしている。	保護者	67	28	4	0	0	0
		内部	13	63	15	4	3	1
		外部	50	50	0	0	0	0
8	個別指導計画、学校生活支援シート等の作成にあたっては、担任と十分に話し合いができ、保護者の願いが活かされている。また、個別指導計画は、指導に活かされている。	保護者	66	32	1	0	0	1
		内部	23	60	15	1	0	1
		外部	50	33	0	0	0	17
9	授業は、児童・生徒が興味・関心をもって学習できるように教材・教具や指導方法を工夫した指導を進めている。	保護者	63	34	2	0	0	1
		内部	24	67	6	1	0	1
		外部	67	17	0	0	0	17
10	学校は児童・生徒にとって分かりやすい授業を行うために、GIGA スクール端末を活用した教育活動を適切に実施している。	保護者	38	36	15	1	1	9
		内部	14	50	24	6	2	3
		外部	50	33	0	0	0	17
11	日常の安全対策・安全指導が適切に行われている。	保護者	53	40	4	0	0	3
		内部	26	64	7	3	0	0
		外部	50	50	0	0	0	0
12	学校はお子さんが自分の意思を示したり、自ら選択したりする意欲を引き出す指導をしている。	保護者	47	42	6	0	0	5
		内部	12	72	11	3	0	1
		外部	33	67	0	0	0	0
13	家庭と担任等との連携が密にとれ、教員は相談事や悩みに適切に応じている。	保護者	67	31	2	0	0	0
		内部	33	59	8	0	0	0
14	学校は教育活動について、学校だより、学年だより、保護者会等を通じて分かりやすく伝えている。	保護者	54	40	4	1	0	1
		内部	17	72	9	1	0	0
		外部	67	17	0	0	0	17
15	保護者の方がお子さんの様子や教育活動を理解する機会は適切に設定されている。	保護者	51	43	5	0	0	1
		内部	24	68	7	1	0	0
		外部	33	50	0	0	0	17
16	教職員は協力し教育活動に取り組み、授業力の向上や専門性の向上に努めている。	保護者	62	34	2	0	0	2
		内部	18	64	15	2	0	0
		外部	50	50	0	0	0	0

児童・生徒による学校評価結果

昨年度の結果と比べると肯定率が増加しており、多くの児童・生徒が教員を信頼し楽しい学校生活を送っていると考えられる。児童・生徒が学校に楽しく登校していることが伺えるものの、一部の児童・生徒からは、肯定的ではない意見もある。引き続き全ての子供たちの様子をよく観察したり対話を大切にしたり、保護者と連携を図って教育活動を進めていく。

設問		実施人数	実施率	回答実数				肯定率
				はい	いいえ	どちらでもない	判別できず	
1	学校は楽しいですか？	小低 107	99%	72	3	14	18	67.3%
		小高 75	99%	65	2	7	1	86.7%
		中 74	99%	68	5	1	0	91.9%
		全校 256	99%	205	10	22	19	80.1%
2	学校では、友達と勉強したり遊んだりしていますか？	小低 107	99%	66	3	14	24	61.7%
		小高 75	99%	65	2	7	1	86.7%
		中 74	99%	68	2	4	0	91.9%
		全校 256	99%	199	7	25	25	77.7%
3	好きな先生はいますか？	小低 107	99%	67	6	9	25	62.6%
		小高 75	99%	65	1	8	1	86.7%
		中 74	99%	67	6	1	0	90.5%
		全校 256	99%	199	13	18	26	77.7%
4	給食はおいしいですか？	小低 107	99%	78	5	9	15	72.9%
		小高 75	99%	66	1	7	1	88.0%
		中 74	99%	73	1	0	0	98.6%
		全校 256	99%	217	7	16	16	84.8%
5	好きな授業はありますか？	小低 107	99%	100	2	0	5	93.5%
		小高 75	99%	74	0	0	1	98.7%
		中 74	99%	73	1	0	0	98.6%
		全校 256	99%	247	3	0	6	96.5%